

## 子育て支援に関するニーズ調査 ～ご記入にあたって～

北広島町では今年度から来年度にかけて、子ども・子育て支援の計画となる「第2期北広島町子ども・子育て支援事業計画」（2020～2024年度）を策定いたします。このたびは、計画策定における町民の皆様の子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望等を把握するため、「子育て支援に関するニーズ調査」を実施させていただきます。

回答は無記名となっており、個人が特定されたり、他の目的に使用されたりすることはありません。本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成30年11月

北広島町長 箕野博司

### 1 調査の対象者

未就学児童（0歳～5歳）が属する世帯

※平成30年10月末日時点の住民基本台帳をもとに、ご協力をお願いしています。

### 2 ご記入にあたってのお願い

- ・ご回答は、お子さんの保護者をご記入ください。
- ・調査票の設問数が多くなっていますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終ページまでご回答くださいますようお願いいたします。
- ・当てはまる選択肢の番号に○をしてください。また、数字を記入するところや、ご意見を記入するところもごさいます。
- ・時刻を記入するところでは、24時間表記をお願いいたします。  
（例）9時～18時、17時まで
- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

**12月10日（月）までに** ご返送ください。（切手は不要です。）

調査内容についてご不明な点は、下記までお問合せください。

【お問い合わせ】北広島町役場 福祉課子育て支援係

〒731-1595 北広島町有田1234

電話：050-5812-1851 FAX：0826-72-5242

Mail：kosodate@town.kitahiroshima.lg.jp

ご協力をお願い  
いたします。



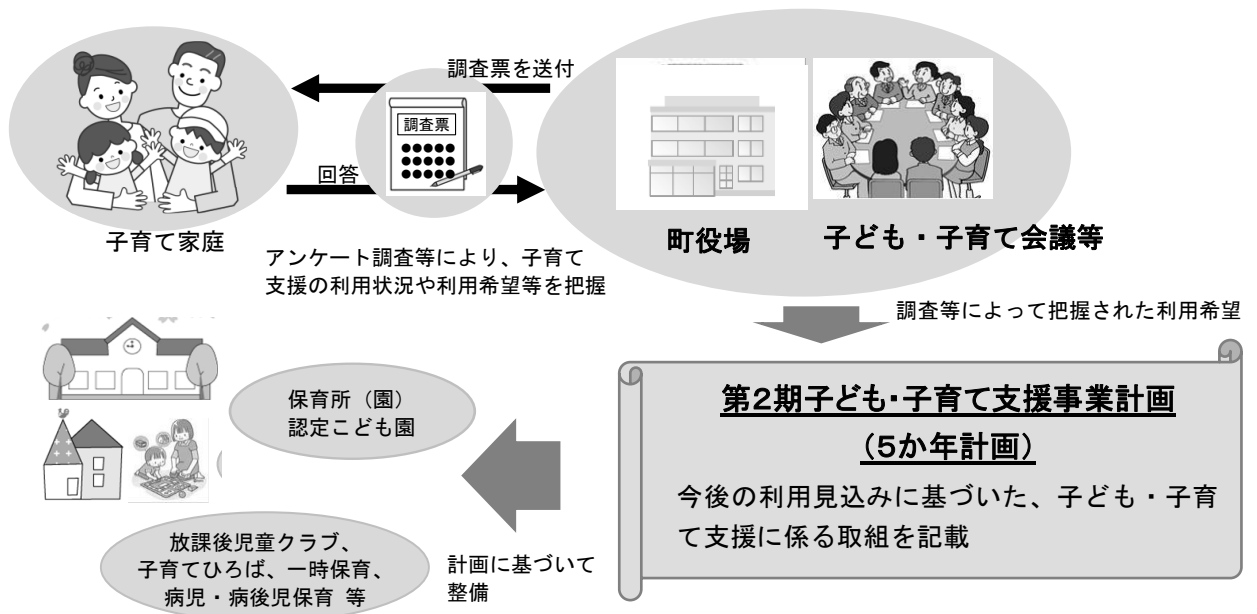
## 用語の定義

- 幼稚園：学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所・保育園：児童福祉法に定める保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条） ※以下、保育所（園）とします。
- 認定こども園：幼稚園と保育所（園）の機能をあわせ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て支援：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

### ★★ ご回答いただく「お子さん」について ★★

このたびの調査票は、ご家庭のお子さんの人数に関わらず、「就学前児童用」1部をお送りしております。もし、ご家庭に就学前児童が2人以上おられる場合は、年長の方を対象としてご回答をしていただきますよう、お願いいたします。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます。



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

1. 芸北地域                      2. 大朝地域                      3. 千代田地域                      4. 豊平地域

お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。( ( ) 内に数字を記入)

平成 ( ) 年 ( ) 月生まれ

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。( ( ) 内に数字を記入)

また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

お子さんの人数 ( ) 人                      末子の生年月月    平成 ( ) 年 ( ) 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 母親                                      2. 父親                                      3. その他 ( )

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者(夫または妻)がいる                                      2. 配偶者(夫または妻)はいない

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(お子さんからみた関係で、○は1つ)

1. 父母ともに                                      2. 主に母親                                      3. 主に父親  
4. 主に祖父母                                      5. その他 ( )

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(○はいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる  
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
5. いずれもない

問8 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1. いる/ある → 【問8-1へ】                                      2. いない/ない → 【問9へ】

◆問8で「1. いる／ある」と答えた方にうかがいます。【該当しない方は、問9へ】

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。  
(○はいくつでも)

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1. 配偶者（夫または妻）・パートナー                             | 2. 親族（祖父母など）           |
| 3. 隣近所の人、地域の知人、友人                               | 4. 職場の人（上司・友人など）       |
| 5. 保育所（園）・認定こども園・学校の保護者の仲間                      | 6. 保育士、認定こども園の先生、学校の先生 |
| 7. 子育て支援センター                                    | 8. かかりつけの医師・看護師        |
| 9. 役場福祉課・保健課・保健センター                             | 10. 民生委員・児童委員          |
| 11. その他（                                      ） | 12. 特にない               |

**お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。**

問9 お子さんの母親の現在の就労状況（父子家庭の場合、回答は不要）をうかがいます。  
(○は1つ)

- |   |         |
|---|---------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、<br>産休・育休・介護休業中ではない | 【問9-1へ】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、<br>産休・育休・介護休業中である |         |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、<br>産休・育休・介護休業中ではない |         |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、<br>産休・育休・介護休業中である |         |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない                            | 【問10へ】  |
| 6. これまで就労したことがない                                    |         |

※「就労」には、自営業、家族従事者の方も含まれます。

◆問9で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（（ ）内に数字を記入）

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。

1週当たり（        ）日
1日当たり（        ）時間
家を出る時刻（        ）時頃      帰宅時刻（        ）時頃

問 10 お子さんの父親の現在の就労状況（母子家庭の場合、回答は不要）をうかがいます。

（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、  
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、  
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、  
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、  
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

【問 10-1 へ】

【問 11 へ】

※「就労」には、自営業、家族従事者の方も含まれます。

◆問 10 で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻と帰宅時刻  
をお答えください。（（ ）内に数字を記入）

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。

1週当たり（ ）日

1日当たり（ ）時間

家を出る時刻（ ）時頃 帰宅時刻（ ）時頃

◆問 9 または問 10 で、「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

【該当しない方は、問 12 へ】

問 11 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

### （1）母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

### （2）父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

◆問9または問10で、「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 【該当しない方は、問13へ】

問12 就労したいという希望はありますか。(○は1つ) ※ ( ) 内には数字を記入

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり( )日 1日当たり( )時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり( )日 1日当たり( )時間

お子さんの平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況について  
うかがいます。

問13 お子さんは現在、保育所(園)や認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している → 【問13-1へ】	2. 利用していない → 【問13-5へ】
----------------------	-----------------------

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している教育・保育事業を指します。具体的には、認定こども園や保育所(園)など、問13-1に示した事業が含まれます。

◆問13-1～問13-4は、問13で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 お子さんは、平日どのような「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 北広島町内の保育所(園)
2. 北広島町内の認定こども園(幼稚園と保育施設の機能をあわせ持つ施設)
3. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
4. ファミリー・サポート・センター
5. その他( )

※「ファミリー・サポート・センター」：子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と子育ての援助を行ないたい人(提供会員)が会員となり、保育所等への送迎、保育所・児童クラブ開始前や終了後の預かりなどを支援します。なお、利用には一定の料金が発生します。

問 13-2 平日に利用している「定期的な教育・保育事業」について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（（ ）内に数字を記入）

※時間は、必ず（例）9時～17時のように24時間制でご記入ください。

（1）現在の利用

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間（ ）時～（ ）時
-----------	---------------------

（2）希望の利用

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間（ ）時～（ ）時
-----------	---------------------

問 13-3 平日に「定期的な教育・保育事業」を利用されている理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労しているため
3. 子育て（教育を含む）をしている方が、就労予定がある／求職中であるため
4. 子育て（教育を含む）をしている方が、家族・親族などを介護しているため
5. 子育て（教育を含む）をしている方が、病気や障害があるため
6. 子育て（教育を含む）をしている方が、学生であるため
7. その他（ ）

問 13-4 現在、利用している主な「定期的な教育・保育事業」の実施場所はどちらですか。

（○は1つ）

1. 芸北地域	2. 大朝地域	3. 千代田地域	4. 豊平地域	5. 町外
---------	---------	----------	---------	-------

◆問 13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。【該当しない方は、問 14へ】

問 13-5 「定期的な教育・保育事業」を利用していない理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 利用する必要がないため
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみているため
3. 近所の人や父母の友人・知人がみているため
4. 利用したいが、保育所（園）や認定こども園等の定員に空きがないため
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できないため
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため
7. 利用したいが、質や場所など、納得できる事業がないため
8. 子どもがまだ小さいため、（ ）歳くらいになったら利用したい ※（ ）内に数字でご記入ください
9. その他（ ）

◆すべての方にうかがいます。

問 14 3歳児以降（世帯所得によっては0歳児から）の保育所（園）、認定こども園などの保育料に係わる費用が無償化（または上限ありの補助）となる見込みです。現在、利用している、利用していないにかかわらず、今後、無償化（または上限ありの補助）になった際、お子さんの平日の「定期的な教育・保育事業」として利用したいと考える事業をお答えください。（当てはまる番号すべてに○）

1. 北広島町内の保育所（園）
2. 北広島町内の認定こども園（幼稚園と保育施設の機能をあわせ持つ施設）
3. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
4. ファミリー・サポート・センター
5. その他（

※「ファミリー・サポート・センター」：子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と子育ての援助を行ないたい人（提供会員）が会員となり、保育所等への送迎、保育所・児童クラブ開始前や終了後の預かりなどを支援します。なお、利用には一定の料金が発生します。

◆すべての方にうかがいます。

問 15 お子さんの平日の「定期的な教育・保育事業」を選ぶ際に、重視する（した）ことは何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 住まいから近いこと
2. 通勤の関係で通いやすいこと、または、仕事場から近いこと
3. 教育や保育の内容が優れていること
4. 保育料（預かり料）が安いこと
5. 保育（預かり）時間が利用しやすいこと
6. 職員やスタッフの対応が良いこと
7. 施設の設備が充実していること
8. 利用者の評判が良いこと
9. 近所の子どもや知り合いが利用していること
10. きょうだいが通っている（いた）こと
11. 周辺環境が良いこと
12. 子どもの障害や発達の状況に対応できること
13. その他（
14. 特にない



お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 16 お子さんは、現在、子育て支援センターを利用していますか。(○は1つ)  
また、おおよその利用回数(頻度)について( )内に数字をご記入ください。

1. 利用している
2. 利用していない

※「子育て支援センター」：育児相談、保育所(園)児との交流、子育てサークルの支援、親子の友達づくりなどを目的に、町内に4か所あります。

◆問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。【該当しない方は、問 17 へ】

問 16-1 主に利用している子育て支援センターを選び、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。  
(○は1つ) ※( )内には数字を記入

【主に利用している子育て支援センター】

1. 芸北子育て支援センター(場所：さつきヶ丘こども園内)
2. 大朝子育て支援センター(場所：大朝保育所内)
3. 千代田子育て支援センターすこやか(場所：ルンビニこども園横)
4. 豊平子育て支援センタールンルン(場所：こども園ふたば内)

【おおよその利用回数】

1か月当たり、おおよそ( )回程度、利用する

問 17 子育て支援センターについて、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。(○は1つ)

また、そのおおよその利用回数(頻度)について( )内に数字をご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい…1ヶ月当たり( )回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい…1ヶ月当たり さらに( )回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 18 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援をするため、平成30年4月から、北広島町子育て世代包括支援センター『ネウボラ きたひろしま「てごてご」』を、北広島町役場福祉課および各地域の子育て支援センターに開設しました。

『ネウボラ きたひろしま「てごてご」』について知っていますか。また、利用されたことはありますか(○は1つ)

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らなかった
4. 今後利用したい

※『ネウボラ きたひろしま「てごてご」』について

ネウボラとは、フィンランド語で「ネウボ」(neuvo)＝アドバイス、「ラ」(la)＝場所を意味する言葉で、『ネウボラ きたひろしま「てごてご」』では様々な子育て支援を行っています。

ネウボラ保育士は、子育てに関する相談、子育て支援サービスのPR、子育ての支援者の育成、認定こども園・保育所(園)への入所相談を行います。

ネウボラ保健師は、役場の関係部署(保健課・教育委員会など)、町内の認定こども園・保育所(園)や学校、医療機関などとのつなぎ役を行い、乳幼児健診などの母子保健事業にも参加します。

ネウボラ助産師は、保健師と共に妊娠期から子育てをサポートするとともに、各地域の妊婦育児相談や乳児健診に参加し、助産師としての相談やアドバイスを行います。

お子さんの土曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について  
うかがいます。

問 19 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか  
(一時的な利用は除きます)。(それぞれ、ひとつずつ○)

※教育・保育事業とは、保育所(園)、認定こども園などの事業を指し、親族・知人による預かりは含み  
ません。

※時間は、必ず(例)9時~17時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、  
一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 利用する必要はない    | } 利用したい時間帯    |
| 2. ほぼ毎週利用したい    |               |
| 3. 月に1~2回は利用したい |               |
|                 | ( )時から ( )時まで |

(2) 日曜・祝日

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 利用する必要はない    | } 利用したい時間帯    |
| 2. ほぼ毎週利用したい    |               |
| 3. 月に1~2回は利用したい |               |
|                 | ( )時から ( )時まで |

◆問 19の(1)もしくは(2)で、「2.」または「3.」(利用したい)に○をつけた方にうかがいます。

【該当しない方は、問 20へ】

問 19—1 利用したい理由は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 仕事があるため            | 2. 平日にできない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 家族・親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 休息・リフレッシュのため         |
| 5. その他 ( )            |                         |



お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  
 (平日の「定期的な教育・保育事業」を利用する方のみ)

◆保育所(園)や認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していると答えた方(問13で「1.」に○をつけた方)にうかがいます。 【該当しない方は、問21へ】

問20 この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった → 【問20-1へ】                      2. なかった → 【問21へ】

問20-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。(当てはまる番号すべてに○)

※( )内に数字を記入(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

この1年間の対処方法	対処した日数
1. 父親が休んで見た → 【問20-2へ】	( )日
2. 母親が休んで見た → 【問20-2へ】	( )日
3. 父親または母親のうち、就労していない方が子どもを看た	( )日
4. 同居(隣接や同一敷地内を含む)の祖父母などの親族が看た	( )日
5. 別居の祖父母などの親族が看た	( )日
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( )日
7. 病児・病後児保育室「ユーカリ」を利用した	( )日
8. その他( )	( )日

※『病児・病後児保育室「ユーカリ」』について

保育所や小学校に通っている児童が、病気回復期に保育所などの集団生活が困難な期間、その児童を一時的に預かる施設です。このことにより保護者の方が安心して働くことができ、児童は医療機関との連携の中で看護師と保育士により、症状をみながら保育を受けることができます。

病児・病後児保育室「ユーカリ」の利用は事前登録が必要で、一定の利用料と利用前のかかりつけ医への受診が必要です。

◆問20-1で「1.」「2.」のいずれかに○をした方にうかがいます。 【該当しない方は、問20-3へ】

問20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等(町内においては「ユーカリ」)を利用したい」と思われましたか。(○は1つ) ※( )内には数字を記入

※病児・病後児のための事業等は一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ( )日  
 2. 利用したいとは思わない(利用したいが利用できない方も含む) → 【問20-4へ】

◆問20-1で「7. 病児・病後児保育室「ユーカリ」を利用した」に○をした方にうかがいます。

【該当しない方は、問21へ】

問20-3 「ユーカリ」を利用してみてどう思われましたか。(○は1つ)

1. 利用できて助かった  
 2. 利用面で次の点を改善してほしいと思った  
 改善を希望される点( )
- 【問21へ】

◆問 20-2で「2. 利用したいとは思わない(利用したいが利用できない方も含む)」に○をした方にうかがいます。【該当しない方は、問 21 へ】

問 20-4 そう思われる理由は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから     |
| 2. 子どもがかわいそうだから               |
| 3. 施設が遠方など、利便性がよくないから         |
| 4. 利用可能時間や日数等の面で、利便性がよくないから   |
| 5. 利用料がかかる、または、利用料が高いから       |
| 6. 利用料がわからない、または、利用方法がわからないから |
| 7. 保護者が仕事を休んで対応するから           |
| 8. 利用するための手続きなどが面倒だから         |
| 9. その他 ( )                    |

**お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 21 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(当てはまる番号すべてに○)

※ ( ) 内には数字を記入

※親族・知人による預かりなど、事業でないものは含みません。

不定期に利用している事業	おおよその日数(年間)
1. 一時預かり (保育所(園)や認定こども園などで一時的に子どもを保育する事業)	( )日
2. ファミリー・サポート・センター (子育てを地域で相互援助する事業)	( )日
3. その他 ( )	( )日
4. 利用していない → 【問 21-1 へ】	

◆問 21で、「4. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。【該当しない方は、問 22 へ】

問 21-1 現在利用していない理由は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がないから                  |
| 2. 事業の質に不安があるから                   |
| 3. 事業の利便性(利用可能時間、手続きの手間など)がよくないから |
| 4. 利用料がかかる、または、利用料が高いから           |
| 5. 事業の内容や利用方法(手続き等)がわからないから       |
| 6. その他 ( )                        |

問 22 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

※利用したい年間の日数合計とその内訳を（ ）内に記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料が発生します。

1. 利用したい	年間合計（ ）日
① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）	（ ）日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（ ）日
③ 不定期の就労	（ ）日
④ その他（ ）	（ ）日
2. 利用する必要はない	

問 23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊まりがけでみてもらわなければならないことはありましたか。（当てはまる番号すべてに○）

※（ ）内には数字を記入

	この1年間の対処方法	日数
1. あった	① （同居者を含む）親族・知人に預けた	（ ）泊
	② 子どもを同行させた	（ ）泊
	③ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	④ その他	（ ）泊
2. なかった		

◆問 23 で、「① 親族・知人に預けた」に○をつけた方にうかがいます。【該当しない方は、問 24 へ】

問 23-1 その場合の困難度（依頼のしやすさ、預けるための手段等）はどの程度でしたか。（○は1つ）

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

**小学校就学後の放課後の過ごし方について、現在のイメージをお答えください。**

問 24 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

※（ ）内には数字を記入してください。

※「4. 放課後児童クラブ」を選択された方は、時間を（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい 下校時から（ ）時まで
5. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
6. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※「放課後児童クラブ」：昼間、保護者が労働等により家にいない家庭の小学生（小1～小6）に対し、授業終了後に遊び・生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。

問 25 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

※（ ）内には数字を記入してください。

※「4. 放課後児童クラブ」を選択された方は、時間を（例）17時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい	
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	
4. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい	下校時から（ ）時まで
5. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい	
6. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい	

※「放課後児童クラブ」：昼間、保護者が労働等により家にいない家庭の小学生(小1～小6)に対し、授業終了後に遊び・生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。

◆問 24 または問 25 で、「4. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。【該当しない方は、問 27 へ】

問 26 お子さんについて、土曜日に「放課後児童クラブ」を利用することを希望しますか。（○は1つ）

※時間は、必ず(例)9時～17時のように24時間制でご記入ください。

【土曜日の利用希望について（現在のイメージ）】

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		（ ）時から（ ）時まで
3. 利用する必要はない		

◆すべての方にうかがいます。

問 27 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に「放課後児童クラブ」を利用することを希望しますか。（○は1つ）

※時間は、必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望について（現在のイメージ）】

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		（ ）時から（ ）時まで
3. 利用する必要はない		

子育てと職場の両立支援制度などについてうかがいます。

問 28 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(母親、父親それぞれについて、ひとつずつ〇) ※ ( ) 内には数字を記入

母親	父親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である) ⇒取得期間( )日	2. 取得した(取得中である) ⇒取得期間( )日
3. 取得していない(出産に伴う退職者を含む) ⇒ 取得していない理由(いくつでも) ※下欄から番号を選んで記入	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(いくつでも) ※下欄から番号を選んで記入

【取得していない理由】※「3.」を選ばれた方は、上記の理由欄に番号をお書きください。

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった                   | 2. 仕事が忙しかった         |
| 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった                     | 4. 仕事に戻るのが難しそうだった   |
| 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった                        | 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7. 保育所(園)などに預けることができた                     | 8. 配偶者が育児休業制度を利用した  |
| 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった |                     |
| 10. 子育てや家事に専念するため退職した                     |                     |
| 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)         |                     |
| 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった              |                     |
| 13. 育児休業を取得できることを知らなかった                   |                     |
| 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した |                     |
| 15. その他( )                                |                     |

◆問 28 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した母親・父親にうかがいます。【該当しない方は、問 29 へ】

問 28-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(〇は1つ)

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した → 【問28-2へ】	1. 育児休業取得後、職場に復帰した → 【問28-2へ】
2. 現在も育児休業中である → 【問28-4へ】	2. 現在も育児休業中である → 【問28-4へ】
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

◆問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 28-2 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○は1つ)

母親	父親
1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用しなかった(利用できなかった) → 【問28-3へ】	1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用しなかった(利用できなかった) → 【問28-3へ】

※「短時間勤務制度」：「育児・介護休業法」によって定められた、元々の労働時間よりも勤務時間を短くしたり、残業をなくしたりする働き方やその制度を指し、具体的には事業主に対し次の義務が課せられています。

「3歳に満たない子を養育する労働者に関して、1日の所定労働時間を原則として6時間とする短時間勤務制度を設けなければならない。また、短時間勤務制度が困難な労働者には、次のいずれかの措置を講じなければならない。●育児休業に関する制度に準ずる措置、●フレックスタイム制度、●始業・終業時刻の繰上げ、繰下げ(時差出勤の制度)、●事業所内保育施設の設置運営その他これに準ずる便宜の供与」

◆問 28-2 で「3. 利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問 28-3 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

母親(当てはまる番号すべてに○)	父親(当てはまる番号すべてに○)
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所(園)の入園申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他( )	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所(園)の入園申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他( )

◆問 28-1 で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方にうかがいます。

問 28-4 お子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(○は1つ)

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい



子育ての悩みや喜びなどについてうかがいます。

問 29 お子さんの子育てについて、日頃悩んでいることや気になることはどのようなことですか。(〇は  
いくつでも)

1. 子どもの病気・障害、または、発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がわからない、または、子どもとの接し方に自信がもてないこと
4. 習い事や食費・被服費など子どもにかかる費用
5. 子どもと接する時間が十分にもてないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事をふくめて、自分のやりたいことが十分できないこと
8. 近所に子どもの遊び友達がいないこと
9. 子どもの友人関係(いじめ等を含む)に関すること
10. 登所・登園拒否などの問題
11. 配偶者・パートナーの協力が少ない、または、意見が合わないこと
12. 仕事などにより得られる収入が少なく、家計が苦しいこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など、まわりの目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に、子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもをしかりすぎているような気がする
16. 地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がよくわからないこと
17. その他 ( )
18. 特にな

問 30 お子さんの子育てをしておられる中で、喜びを感じたことや良かったことはどのようなことですか。  
(〇はいくつでも)

1. 自分子どもとのふれあいや交流が楽しいこと
2. 子どもが成長していくのを見ること
3. 子どもが成長にともない様々な方と関わることで、人間関係が広がること
4. 子育てをつうじて自らが人間的に成長できること
5. 子どもがいることで家庭の中が明るくなること
6. 子どもや子育てをつうじて夫婦や家族のきずなが強くなること
7. 子どもがいることで孤独を感じることはないこと
8. その他 ( )
9. 特にな

問 31 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをされていますか。(○はいくつでも)

- |  |              |
|--|--------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 子どもと保護者が、一日に一回は必ず一緒に食事をとること</li><li>2. 誕生日や記念日などを家族で祝うこと</li><li>3. 家族での旅行</li><li>4. 動物園、水族館、遊園地などの野外体験</li><li>5. 美術館、博物館、音楽観賞、映画鑑賞などの文化体験</li><li>6. 家族での外食</li><li>7. 学習をともなう習い事(学習塾、習字、そろばんなど)</li><li>8. 学習以外の習い事(各種スポーツ、ダンス、ピアノなど)</li><li>9. その他( )</li></ol> | } 【問 31-1 へ】 |
|--|--------------|

◆問 31 で「7.」「8.」(習い事をさせている)と答えた方にうかがいます。

問 31-1 習い事にかかる1か月当たりの費用の平均はいくらですか。(○は1つ)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 5千円未満</li><li>2. 5千円～1万円未満</li><li>3. 1万円～2万円未満</li><li>4. 2万円～3万円未満</li><li>5. 3万円以上</li></ol> |
|--|

本町の子育て施策全般についてうかがいます。

問 32 本町に、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 公園や歩道など、安心・安全なインフラの整備</li><li>2. 遊具の設置など、遊び場の充実</li><li>3. 子育てについて、保護者が学べる機会の充実</li><li>4. 親子で楽しめる観劇や音楽会など、文化事業の充実</li><li>5. 子育てに困ったときに、保護者が相談したり情報が得られたりする場の充実</li><li>6. 小児医療体制の整備・充実</li><li>7. 残業時間の短縮、有給休暇・育児休業の取得促進などに対する企業への働きかけ</li><li>8. 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の充実</li><li>9. 子育てサークル活動への支援</li><li>10. 障害などを持つ子どもや家庭への様々な支援や配慮</li><li>11. 児童手当・子ども医療費助成など、子育て世帯への経済的支援の充実</li><li>12. 児童虐待防止に向けた様々な取組や啓発活動</li><li>13. ひとり親や核家族が、仕事をしながら安心して子どもを育てられる環境の整備や支援</li><li>14. 幼児教育・保育施設や、学校教育施設の整備と充実</li><li>15. その他( )</li><li>16. 特にない</li></ol> |
|--|

問 33 お子さんを本町でこれまで育ててこられた中で、子育てに関する次の点についてどのように考えますか。（それぞれの項目について、ひとつずつ○）

項目	回答
ア. 幼児教育・保育の環境やサービスに満足していますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
イ. 子育てが楽しいと感じていますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
ウ. 子どもがいても安心して働けると感じていますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
エ. 小児医療体制に満足していますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
オ. 子どもにとって、北広島町が愛着のあるふるさととして認識され、成長できる環境にあると思いますか。	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
カ. 障害などにより配慮の必要な子どもを安心して育てられる環境であると感じますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
キ. ひとり親世帯や核家族世帯が、子どもを安心して育てられる環境であると感じますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
ク. 児童虐待を防止する取組が進んでいると感じますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
ケ. 子育てが地域の人たちに支えられていると感じますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない
コ. 公園など遊び場が充実していると思いますか	1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない

問 34 本町における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い		ふつう		満足度が高い
1	2	3	4	5

問 35 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

---



---



---



---



---

同封の封筒に入れて、切手は貼らずに12月10日（月）までにご返送ください。  
アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

